

令和5年第2回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議録

令和5年第2回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、令和5年6月28日、13時45分、北小野地区センターに招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

報告第1号 両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
報告第2号 要保護・準要保護生徒の認定について〈非公開〉

4 その他

その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

5 校長報告

6 閉 会

○ 出席委員

教育長	赤羽	高志
教育長職務代理者	古厩	一
委員	小澤	晃
委員	小松	恵美
委員	竹澤	克彦

○ 説明のため出席した者

両小野中学校長	上條	勝利
こども教育部長	太田	文和
こども教育部次長 (教育総務課長)	熊井	美恵子

○ 事務局職員出席者

教育総務課担当課長	五味	克敏
家庭支援課長	植野	敦司
教育総務課課長補佐 (学校運営係長)	六井	雄三
教育総務課課長補佐 (学校支援係長)	小松	義宏
教育総務課教育企画係長	佐藤	智樹

○ 本日の会議に付した議事

会議日程に記載のとおり

1 開 会

赤羽教育長 皆さん、こんにちは。予定の時刻より大分早いわけですが、全員おそろいなので始めたいと思います。

本日はお忙しい中、しかもお暑い中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。梅雨明けは7月の中旬だとこの間ニュースでやっていましたが、この週末ですが、鉢伏山と霧訪山のほうを見ましたら、大きな積乱雲が、夏を一瞬告げるような感じで見えました。それを見てひとり喜んでいました。

それでは、これより令和5年第2回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会を開会いたします。会議に先立ちまして、人事異動による新しい職員の紹介を事務局からお願いいたします。

五味教育総務課担当課長 皆様、こんにちは。塩尻市教育総務課担当課長の五味克敏と申します。私は、主に施設の関係を担当いたします。よろしくをお願いいたします。

赤羽教育長 ありがとうございます。異動は1人だけということで、よろしくをお願いいたします。

2 前回会議録の承認について

赤羽教育長 続きまして、2番、前回会議録の承認について、事務局から説明をお願いします。

瀧沢教育総務課教育企画係主事 前回、令和5年第1回教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくをお願いします。

赤羽教育長 よろしいでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 異議なしということで、そのようをお願いいたします。

3 教育長報告

赤羽教育長 続いて、3番、教育長報告に入ります。

今日は時間が割と短いということで、1つだけ報告させていただきたいと思います。学校と地域等が連携して、確かな子どもの成長を支援する営みというものが脈々と継承されているということ、あそこにも絵がありますが、5月の御柱祭とか、あと、両小野小学校の運動会に招待されまして、その様子から感じ取ることができました。

5月3から5日まで3日間、地域の大切な文化であります小野御柱が7年ぶりに開催されました。天候にも恵まれて、壮大な里曳きや建御柱、木遣り歌や踊り、小野神社、弥彦神社、2つの神社は熱気に包まれていました。うとうくん、そして生徒、職員がおそろいの御柱バージョンの特製のはっぴを着て、御柱を盛り上げていました。ほかのはっぴも目立つのですけれども、本当によく目立っているなということを感じました。それから、うとうグッズの販売もテントで行っており、にぎわいを醸し出しておりました。

この会場で小学生が子ども木遣りをしたりとか、両小野中の吹奏楽部のステージも企画されていたりしました。そして、木遣りや演奏が終わった後ですが、たくさんの聴衆からたくさんの拍手が沸き起こりました。それぞれが自分の役割を与えられ、地域の皆様と一緒に小野御柱を盛り

上げている確かな姿だと感じました。地域の皆さん、部活動顧問等の大人の力を借りて、ずっと積み上げてきた練習の成果だったのかなということを感じました。

それから、6月5日月曜日ですが、両小野小学校の運動会が行われました。辰野町宮澤教育長、教育委員、上條校長先生、市議会議員等と一緒に参観させていただきました。雨天順延での平日開催でありました。

かけっこが行われました。速く走る子もいれば、周りを見ながらにこにこして走る子、様々なお子さんがいました。精一杯走る子どもたちの姿を応援する保護者の方、地域の皆様、それから小柳津校長先生の声がとても響き渡っていたなということを感じました。途中ですが、中学年か高学年の子が、靴が片方脱げてしまうシーンがありました。学校では、そのまま走れという指導もよくやるのですけれども、その子の様子を見ていました。しまったという顔をしたのですが、その後、精一杯走り抜けました。皆さんからたくさんの拍手を頂きました。一言で言えば、本当にお見事だったなということを感じました。

玉入れが行われました。玉入れのかごにたくさんの玉が、こんなに入ってしまった方がいいのかなと思うぐらいたくさん入りました。校庭で見ている子どもたちはもちろんですが、全員がそこに一点集中して見ていました。数年ぶりに本格的な、コロナ禍の前とは違う運動会だと思いますけれども、運動会が行われて、私も初めて参加することができました。とてもいい運動会だったなということを感じました。私からの報告は以上であります。

それでは ぜひ各委員、今までのことで御意見とか報告等がありましたら、お願いしたいと思います。いかがでしょうか。

古厩教育長職務代理者 今、両小野小学校の話が出ましたけれども、私もずっと見させていただきました。教育長が話されたように、玉入れは五十幾つまで、よくぞ長くやったなと、そんなふうに思いました。全員が低学年、高学年に分かれてリレーをやっている姿、最初のかけこのときはもう自分は駄目だと、うちの孫の話ですが、ゆっくりと最後を走って、とても全力というようなものではないですが、それでもリレーのときには、あれでも本人は一生懸命、抜かれてはいけないと思っ

て走ったのかなと、そんな姿も見ました。小柳津校長先生が、こういうふうに途中か最後に話されたのですけれども、それは私も一番願っていることですが、親に格好よく見せるための運動会ではなくて、子どもたちが楽しみ、精一杯やっている姿、これを目指しての運動会だったというお話をしていましたけれども、まさにそういう、ピラミッドだとかはなかったですけれども、本当に子どもたちが楽しそうにやっている。また、全力で走る子をたくさん見ました。そういう姿を見て、大変感動しました。ありがとうございました。そういう気持ちです。

赤羽教育長 ありがとうございました。続けてありますか。

小松委員 コロナがなからになりまして、3年という期間、皆さんが閉ざされたような環境の中にいたわけですが、3年という期間は、子どもにとっては、年が小さければ小さいほど長い期間だったと思います。その間は人と接することはいけないというか、なるべく控えたほうがいいという、そういう中で育ってきたわけですが、ここで5類になり、以前のように社会が動き出したのですけれども、そうすると今度は、みんな人と接していこうというような状況になってきたわけです。

でも、中には、やはり人と接することが苦手な人たちもいるわけですし、私自身、コロナという時代の中で人とあまり接しない楽な部分、それとか、行事が中止になったりしてほっとしたりした気持ちというのが、正直あったりしたわけです。そうすると、そういう中で大事な3年間というのを過ごしてきた子どもたちが、いざ、みんな一緒にやりましようと言われても、中には、自分はや

はり一人が好きだというか、一人の時間を大切にしたいと思う子どもたちもたくさんいると思うのです。

だから、急に、みんなと一緒に接して頑張ってやっていきましょうと言われても、今まではよかったのです。みんなが孤独の中にいたのですけれども、いざ、こういうふうに時代が変わってきたら、自分だけが取り残された気分になるというか、そういう気持ちの子が出てくるのではないかと。独りぼっちという言葉がいろいろ世間を騒がせましたけれども、独りぼっちにさせるのではなく、一人が好きだとか、一人がいいという子どもたちもいると思うので、そういう子どもたちを独りぼっちにさせるのではなくて、一人でいることが好きだということを認めて、見守ってあげるというか、そんなふうのできたらいいなと。せっかくそういう天から与えられた試練というか、その中で学ぶものもあったのではないかと思います。

赤羽教育長 大事な視点、一人一人の居場所と言いますか、それぞれ居場所があればいいなということを感じました。大事なことをありがとうございました。

小澤委員 久しぶりに見学させていただきました。以前とも変わって、種目数が少なくなったという言い方はおかしいけれど、午前中で行うような形で行われていたと思います。大変にコンパクトで、爽やかですがすがしくて、温かみのある運動会だったと、全体にそんな気がしました。

だから、これからの方向で行くと、いろいろ工夫をしてアイデアに富んだ運動会。今までの昔の運動会と少し趣旨を変えたような方向で行われるのもいいのかなという気がいたしました。

赤羽教育長 ありがとうございました。

竹澤委員 この4月から娘が中学1年になりまして、バレー部に入ったのですけれども、ちょうど6月17日、18日と24日、25日と中信大会がありまして、17日、18日は8ブロックに分かれて、3位までの順位を決めて、その3位以上のチームが24日からトーナメントで試合をしたのですけれども、両小野中は単独で出られなくて、松本の筑摩野中学の2年生4人と一緒に出場しました。1つの学校のチームではないチームに参加すると、やはりチームの競技は毎日やってチーム力が高まっていくと思うのですけれども、なかなか別々の学校の人たちは勝ち残れなくて、合同で出ていたチームがほかに2つくらいあったと思うのですけれども、両小野中と筑摩野中の2年生たちは勝ち残って、Aブロック3位でトーナメントに進みました。そこには、それまで一緒に練習してきたときの工夫とか、先生方の指導とかがよかったのではないかと思いますし、すごくまとまっていて、別々の学校の子たちではないようなチームだったなと思って見ていました。

24日の前日の金曜日、筑摩野の子たちが両小野中に来て、一緒に練習したいということで、実際、練習できたのですけれども、そこには校長先生はじめ、いろいろな先生方の調整とかがあって、チームとして活動できるようにしてくれたのだらうと思いますし、私も含めて保護者がボール拾いの手伝いをしたのですけれども、そういうところにも、教頭先生はじめ、先生方が練習を見に来てくれたりしました。24日のトーナメントの当日も、校長先生が試合を見に来ていただいて、それに対して、筑摩野の保護者の方たちは、すごいねと。だから、やはり手厚くというか、子どもたちのことをしっかり見ていただいている学校だなと思いました。

結果は、初戦でほかのブロックの2位のチームに勝ちまして、シード校と当たってしまったのですけれども、そこには、結構いい試合だったのですけれども、負けてしまいました。結局、穂高西中が中信地区で2位になったチームだったのですけれども、そこといい試合ができて、メンバーが少ないという中で、3年生は多分なくていい苦勞もしてきたと思うのですけれども、いい部活動だったのではないかなと思って見ていました。

赤羽教育長 詳しくありがとうございました。そういう私も知らないお話をたくさん聞けてよかったなと思います。ありがとうございます。

そのほか、よろしいでしょうか。ありがとうございました。
それでは、次に進みたいと思います。

3 教育長報告

○報告第1号 両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について

赤羽教育長 初めに、報告第1号、両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について、事務局から説明をお願いいたします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） それでは、報告第1号、両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について御説明いたします。資料No. 1を御覧ください。

両小野学園運営協議会委員推薦書が学校より提出され、委員の任命について、教育長専決により決定いたしましたので、報告するものでございます。

教育長専決日は、令和5年4月1日。委員の任期につきましては、令和5年4月1日から令和7年3月31日まで。委員の人数は29名でございます。

委員報酬につきましては、本市と辰野町で、1人当たり年額3,000円を負担し、任期途中で退任の場合は、任命期間により月割りでお支払いいたします。

委員名簿につきましては、次ページにございますので、御確認をお願いいたします。説明は以上でございます。

赤羽教育長 ありがとうございました。委員の皆様から質問、御意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

赤羽教育長 それでは、次に進みたいと思います。

○報告第2号 要保護・準要保護生徒の認定について〈非公開〉

赤羽教育長 続いて、報告第2号、要保護・準要保護生徒の認定について、事務局から説明をお願いいたします。なお、本案件は非公開としたいと思います。よろしいでしょうか。

確認しましたところ、傍聴者はいませんので、事務局から説明をお願いいたします。

赤羽教育長 なければ、非公開を解いて、次に進みます。

4 その他

○その他第1号 塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

赤羽教育長 続きまして、その他第1号、塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について進みます。

○議案第1号 監査委員の選任について

赤羽教育長 初めに人事案件、議案第1号、監査委員の選任について、事務局から説明をお願いします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） それでは、こちらの組合議会の議案を御用意ください。議案第1号、監査委員の選任について御説明いたします。議案の2ページを御覧ください。

提案理由につきましては、監査委員の選任について、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

概要につきましては、樋口千代子氏が令和5年4月29日に辞任したこと及び小野幸春氏が令和5年6月19日に任期満了になったことに伴い、新たに小口直実氏、杉江征夫氏を適任者と認め、選任しようとするものでございます。なお、任期は4年でございます。

略歴書につきましては3ページ、4ページに記載してございますので御確認ください。説明は以上でございます。

赤羽教育長 それでは、この議案に対して質疑等ございますでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

赤羽教育長 異議なしということですので、次に進みたいと思います。

○報告第2号 公平委員会委員の選任について

赤羽教育長 続いて人事案件、議案第2号、公平委員会委員の選任について、事務局から説明をお願いします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 続きまして、議案第2号、公平委員会委員の選任について御説明いたします。

大変申し訳ございませんが、初めに資料の訂正をお願いいたします。7ページの略歴書につきまして、略歴欄の上から4行目、市民環境事業部となっておりますが、市民環境事業部長の誤りでございますので、訂正をお願いするとともに、おわび申し上げます。誠に申し訳ございません。

それでは、議案の説明をいたします。6ページを御覧ください。

提案理由につきましては、公平委員会委員の選任について、地方公務員法第9条の2第2項の規定により議会の同意を求めるものでございます。

概要につきましては、委員3人のうち、川上恵美子氏が令和5年7月3日に任期満了となることに伴い、再び同氏を適任者と認め、選任しようとするものでございます。なお、任期は4年でございます。

略歴書につきましては、7ページに記載してございますので御確認をお願いいたします。なお、中学校組合では慣例により、塩尻市の公平委員会委員を本組合の公平委員として選任させていただいております。説明は以上でございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、この議案に対しまして質疑等ございますでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、次に進みたいと思います。

○報告第1号 令和4年度塩尻市辰野町中学校組合繰越明許費繰越計算書について

赤羽教育長 続いて報告案件、報告第1号、令和4年度塩尻市辰野町中学校組合繰越明許費繰越計算書について、事務局から説明をお願いいたします。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 続きまして、報告第1号、令和4年度塩尻市辰野町中学校組合繰越明許費繰越計算書について御説明いたします。8ページ、9ページを御覧ください。

令和4年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計の繰越明許費に係る経費を、次のとおり令和5年度に繰り越しましたので、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、報告するものでございます。

10ページを御覧ください。中学校管理諸経費の消耗品費等につきまして、学校における新型コロナウイルス感染症流行下での換気対策として、CO2モニター、サーキュレーター等の感染防止用

の物品等を購入するための経費について、国の補正予算に対応し、事業を前倒したことにより、年度内に完了できなかったため、今年度予算に繰り越したものでございます。

繰越額は90万円で、財源内訳につきましては、特定財源である国庫補助金が45万円、一般財源が同じく45万円でございます。説明は以上でございます。

赤羽教育長 ありがとうございます。それでは、この報告に対しまして質疑等ございますでしょうか。

〔「なし」の声あり〕

赤羽教育長 ないようですので、これらの議案につきましては、本日予定されている議会へ上程されるということで御了承いただきたいと思っております。

5 校長報告

赤羽教育長 5番、校長報告に入ります。上條校長、お願いいたします。

上條両小野中学校長 よろしく申し上げます。資料が2つありますが、両面刷りの資料と学校要覧になります。

私も両小野中学校に赴任して、早くも3年目になりました。今年度も生徒をど真ん中に置いた学校経営をしていきたいと思っております。

4月6日、3年連続私の誕生日に入学式が行われ、17名の1年生が入学して、全校65名の生徒と25名の教職員で本年度をスタートしております。毎朝、昇降口で生徒を迎えているわけですが、本当に両小野中学校の生徒たちは気持ちのよい挨拶をしてくれています。地域でも、中学生は元気を与えてくれる源と言われるように、挨拶ができる生徒をさらに育てていきたいな思っています。

本校の特色のある活動として、アントレプレナー学習と夢プロジェクトがありますけれども、最初にアントレプレナー学習ですが、昨年度、今の高校1年生たちが、御柱があるので、平成29年度に先輩が創案した「うとうくん」を生かして、オリジナルのはっぴを作ったかどうかということをご提案してくれました。それで、「うとうくん」をデザインしてくれた竹内さんにサポートをまたお願いして、写真にあるようなはっぴを作りました。それについては、製作費は生徒の取組に対して賛同していただいた北小野地区と小野地区の財産区が折半を負担していただいたということで、とてもありがたく思っています。

修学旅行では、サービスエリアや京都のいろいろなところで、「小野おんばしら」のパンフレットを配布しPR活動をしてきたり、はっぴを着て、このような形で交流して、記念写真を撮ったりしてきました。なかなか修学旅行ではっぴを着て記念写真を撮る学校はないと思うのですが、このようなことができてよかったなと思っています。

また、夢プロジェクト、地域貢献型の生徒会ですが、今年度も5月20日に紅葉山の植樹活動をしたり、6月20日に地域美化活動を小学校の4、5、6年生と一緒にやりました。また、3年前から行っている空き缶回収ですが、昨年度は、その収益金で保育園に本などを贈呈しました。

また、御柱があるということで、本校の校庭が駐車場になるということもありまして、いらっしやった観光客の皆様に元気を与えたいということで、3月末に地域にチラシを配って、家で眠っているこいのぼりを譲ってくださいということをしてみたところ、吹き流しを含めて70本以上ものこいのぼりが集まりました。4月28日ですが、地域の方やPTAや生徒のボランティアが集まって、たくさんのこいのぼりを校庭に泳がせることができました。

学校要覧の2ページ目にあるのですけれども、北小野の保育園の生徒たちがよく校庭に来ますが、こいのぼりの下で、「僕たちが作ったこいのぼりだ」と。手作りのこいのぼりも作ってもらったので、そういうのを見ながら、こいのぼりを見て楽しんでいる姿も見られました。

先ほども教育長からも話がありましたが、お祭りのゴールデンウィークの3日間、北小野地区センターでグッズを売ったりだとか、神社では、「うとうくん」の着ぐるみを生徒が中に入って代わる代わる出ていくと本当に大にぎわいで、お祭りを盛り上げることができたと思っています。

4番の部活動の件ですけれども、先ほど竹澤委員からもありましたが、今年度、球技のほうは、本校は単独で出場することが、野球部、女子バレー部、女子バスケットボール部、全て合同チームで参加をしました。詳しい内容はそこに書いてありますけれども、今日の給食の後、バレーボール部のシロトリさんとヨコサワさんが私のところに来て、「校長先生、応援に来てくれてありがとうございました」というようなことを言ってくれました。私、昨日出張だったので今日来てくれたのですけれども、そうやって子どもたちがきちんと感謝を私のほうに返してくれるということも、いい生徒たちでうれしく思います。部活動以外にも水泳の大会に1人参加をして、2種目県大会ということで、また活躍してくれるのではないかなと思います。

文化部のほうですけれども、吹奏楽部については5月28日に第3回の両小野中学校吹奏楽部の演奏会を開きました。今回は、生坂中学校の吹奏楽部も参加してくれています。地域の方や保護者、生徒が150名以上訪れて、大変盛り上がりました。7月22日に行われる中信地区吹奏楽コンクールに向けて、また練習を重ねていますが、人数が9人ということで少ないのですけれども、ぜひ県大会に進むことを期待しています。美術部については、霧訪祭でのステージバックを今みんなで力を合わせて作っています。

5番、生徒や教職員に期待することですけれども、本当に両小野中学校が目指す生徒の姿は、やる気・挑戦・自信という3つの柱ですけれども、それに向かって先生方にも、教科でのその力を深めて、学習の向上や生きる力につながる指導をお願いしています。

4月26日は、小学校・中学校合同の両小野学園職員会がありました。昨年度から取り組んでいるのですけれども、小学校・中学校が共通した指導・支援の方法を明確に示した授業スタイル、両小野スタンダードというものをつくりました。これは1学期の学習オリエンテーションで児童・生徒に説明したり、授業参観をするときに保護者の方や地域の方々にも配布をして、授業がどのように進んでいくのかということも理解していただければいいかなと思って、今年度進めていくこととなります。

最後、6番ですけれども、今年度、本校は70周年を迎えます。10月9日の月曜日、レザンホールでミュージックフェスタという形で、午前中、両小野学園の音楽会というスタイルで小学校の児童の皆さんもレザンホールに来ていただきますし、両保育園の年長さんも来ていただいて、歌の発表をしてくれる予定です。午後は吹奏楽部の演奏や、御柱がありましたので木遣りや太鼓の演奏、また、元校長の岩下先生が今指導している波田少年少女合唱団もゲスト出演をしていただいて、一日音楽で70周年を祝いたいと思いますので、皆様もお時間があつたら御来場していただければと思います。

本当に地域に支えられている両小野中学校、ますます頑張っていきたいと思いますので、今後ともよろしくお祈りします。

赤羽教育長 校長先生、ありがとうございました。

次に行きたいと思います。事務局から何かありましたらお願いします。

古厩教育長職務代理者 1つだけ。以前、取り上げたことがあるのですけれども、コロナで休んでいたのですが、成人式というか今は成人の集い、塩尻のほうは北小野在住の生徒だけ、辰野町のほうで

は辰野町在住の生徒だけで、中学生そろって参加できないような状態で、例えば辰野町でやる時には名簿はあるので、塩尻市のほうで希望生徒には出していただくように。それから、塩尻市でやる時には辰野町の教育委員会のほうに名簿を送って出していただくような。一旦、決まったと思うのですが、このコロナでうやむやになっていましたので、ぜひお願いしたいと。学校そろって出られないような、子どもたちの少し悲しい状態があると思いますので、ぜひお願いしたいと思います。以上です。

赤羽教育長 その件に関して。

古厩教育長職務代理者 多分、部長しか知らないですよ。

熊井こども教育部次長（教育総務課長） 二十歳の集いでございますが、塩尻市での所管は社会教育スポーツ課になります。今日頂いた御意見を担当課に伝え、研究、検討してまいりますので、御理解いただきたいと思います。

赤羽教育長 ありがとうございます。

古厩教育長職務代理者 小学校のほうでは言いませんので、よろしく申し上げます。同じことですので。

赤羽教育長 ありがとうございます。

6 閉会

赤羽教育長 本日の教育委員会は、これで閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後14時15分に閉会する。

以上

塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議規則第17条第2項の規定により署名する。

教 育 長

同職務代理者

委 員

委 員

委 員

記 録 職 員
教育総務課教育企画係
